

ごみ受入供給設備

ごみ計量器

各家庭から収集されてきた「ごみ」はここで自動的に計量、記録、集計されます。



投入ステージ

計量された「ごみ」は、ここからごみピットへ投入されます。



▲ごみピット-1

ごみピット及びごみクレーン

ごみピットに一旦貯留された「ごみ」をクレーンでつかみ、焼却炉の入口である投入ホツバに投入し、焼却炉へ送ります。



▲ごみピット-2

ごみクレーン操作室

クレーンは、ごみクレーン操作室より遠隔操作または自動運転されます。



▲ごみクレーン操作室(既設)



▲ごみクレーン操作室(増設)

投入ホッパ

「ごみ」は、クレーンにより、この投入ホッパに供給されます。



ごみ焼却設備

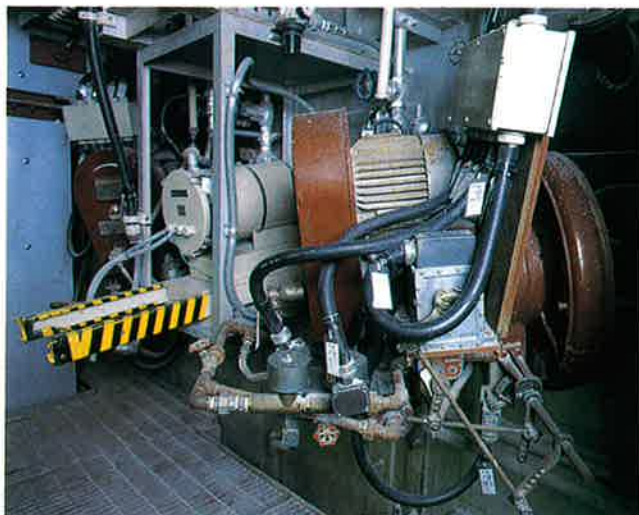
押込送風機

ごみピット内の臭気を含んだ空気を吸込んで、焼却炉内へ送風します。



助燃バーナ

バーナは、焼却炉を始動、停止するときだけ使用します。



燃烧状態

焼却炉内は、850～950℃の高温で、ごみは完全焼却されます。

飛灰処理装置

電気集じん器で捕集した飛灰をキレート剤を添加、混練し、飛灰中の重金属の溶出を防止します。



灰クレーン

灰ピット内の灰は、このクレーンにより、灰運搬車に積込まれます。

余熱利用設備

ボイラ

燃焼ガスの冷却と余熱の有効活用を図るための蒸気を作り、熱を回収します。



蒸気タービン発電機

「ごみ」の燃焼によって発生する熱エネルギーを利用するため、ボイラで発生した蒸気で発電を行い、工場内の電力をまかないます。



老人憩の家

ボイラで発生した蒸気は、老人憩の家や市民プールへの温水供給の熱源に利用されます。

市民プール



公害防止設備

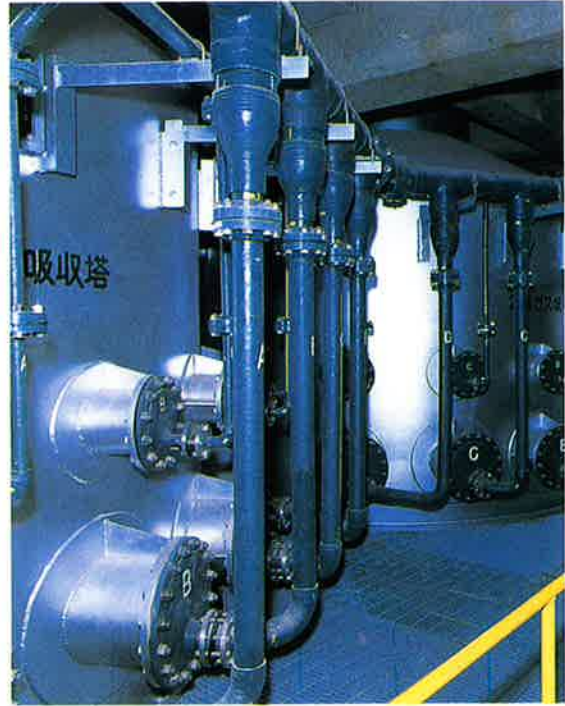
電気集じん器

ガス中のばいじんは、この電気集じん器で微細なばいじんまで取り除きます。



有害ガス除去装置

ガスに含まれる塩化水素ガス、硫黄酸化物を除去します。



NOx除去装置

ガス中に含まれる窒素酸化物を除去します。



排水処理設備

工場から出る汚水は、高度処理してから再利用します。



自動化設備

中央監視制御室

工場全体の頭脳にあたります。すべての機器の運転状況を示す計器類が集められ、集中監視と遠隔操作で的確な運転が行えます。



ごみクレーン自動運転操作盤

ごみクレーンは、自動運転ができます。



電算機室

焼却プラントの制御を行うとともに各種運転情報を総合的に処理します。

その他の設備

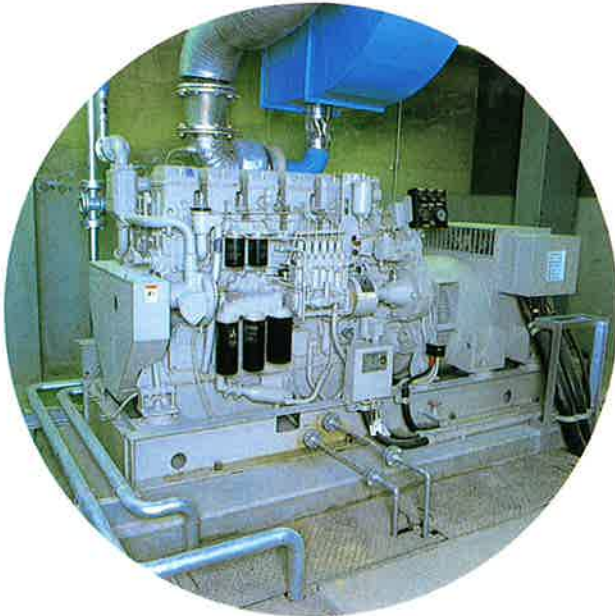
受変電室

焼却プラントの運転に必要な電力を受変電します。



電気室

各機械の運転に必要な電力を供給します。



非常用発電機

停電などの非常時において工場の保安電力を供給します。

ポンプ室

各機器へ必要な給水を行います。

